



小学館の学年別・学習雑誌

小学四年生

お正月特別号

テレビ化決定!!

学習カラー特集

人間は
こうして
くふうした



第15回全国児童生徒作品
コンクール入選作品発表

2

月号

- 8 小四多セモンド百科 知りたいことがわかる
- 7 パーマンゲーム 日本最初のパーマンゲーム
- 6 ママねえちゃん カラーコミックス
- 5 名作めぐりゲーム 名作のカラーさし絵で遊ぶ
- 4 フスコットルーレット 作り方・遊び方は二二八ページ
- 3 着物がえれンダ! 作り方・使い方は一五ページ
- 2 人気者家族あわせ エミリー まんがの人気者と遊ぼう
- 1 ジャンピング! 作り方は二二六ページ
- ★ 8大ふろく かばじゅう



冬のごわい話

雪女

男っこミカ

ゆかいまんが

ひつくり画報

これが鬼だ

■小学館ビル完成記念愛読者サービス(133ページ)



全国児童徒作品展シケル

小学四年生
入選作品

★みんなさんの作品★

★小学館賞を受けた、戸田博之君の作文「のりちゃん」を読みましょう。

佐藤千鶴子

宮城県名取郡

作文

八木山動物園

小学館賞

のりちゃん

山口県萩市立明倫小学校
戸田博之



のりちゃんは、ぼくのいとこで、広島市付近に住んでいます。

今、五歳の女の子です。

小にまひで、歩くことも、ことばを話すことも、できません。

食事は、手が動かないで、自分で

ひとりでは、できません。

ごはんを食べさせてくれたり、水

をのませてくれる人が、いなくては

とても、いきてはいけないので。

で、できますが、のりちゃんにでき

ることは、なくこと、わらうことだけ

で、あとは、みんな、人にしてもら

らうのです。

動かれない

のりちゃんに

は、テレビが

ただ一つの、

楽しみのよう

です。



のりちゃんの、いちばんの楽し
みは、テレビを見ることでしょ
う。テレビをつけていると、大き
くなつたのか、ワー
ワード、なさだすこ
ともあります。また、
おもしろい時には、
元顔を見せるこども
時ときあります。

ぼくは、勉強、運動、それに
食事、だいたいなんでも、ひとり

それを、のうせい小にまひといっ

◆国画の入選作品は8ページに、また入選者全員の名まえは、243ページにのっています。



のりちゃんの、いちばんの楽し
みは、テレビを見ることでしょ
う。テレビをつけていると、大き
くなつたのか、ワー
ワード、なさだすこ
ともあります。また、
おもしろい時には、
元顔を見せるこども
時ときあります。

それを、のうせい小にまひといっ

つてているのです。

ぼくは、勉強、運動、それに

食事、だいたいなんでも、ひとり

それを、のうせい小にまひといっ

つてているのです。

ぼくは、勉強、運動、それに

食事、だいたいなんでも、ひとり

それを、のうせい小にまひといっ

つてているのです。



選・三井ふたばこ
絵・河野 きみ

わたしは、十一月二日に、わたしと、おかあさんと、いどこのきなえちゃんと、仙台の八木山動物園に行きました。
動物園に着いたら、風がつめたく少し寒かったです。でも、がまんしました。

一番初めに、白鳥と、あひるを見ました。あひるのからだやはねは、いろんな色がまざつてとてもきれいでした。白鳥もまつ白できれいででした。白鳥があひると一緒に泳いでいました。わたしは、すいすいと泳いでいました。

その後に、あしかを見ました。あしかは、二ひきしかいませんでした。わたしが、あしかを見ようとして、顔を近づけたら、あしかが、わたしの顔のほうへニュッと顔を出したので、びっくりしました。

わたしとおかあさんが、あしかを見ていたら、まだ、二本の小さなちやんが、わたしと

おかげさんの手をひつぱって、「そうさんどこ行くよ。」と、なん回も言うので、そうの所へ行きました。

そうの所へ行って見たら、そうち、「みんな、ようこそいらっしゃいました。」と、

言うように、長いはなを上下に動かしながら

くからだ全部が、小にまひにかかる

は、からだの一部でな

のりちゃんの病気です。

わたしとおかあさんは、からだの一部でな

のりちゃんの病気です。

わたしとおかあさんは、からだの一部でな

のりちゃんの病気です。

わたしとおかあさんは、からだの一部でな

のりちゃんの病気です。

わたしとおかあさんは、からだの一部でな

のりちゃんの病気です。

わたしとおかあさんは、からだの一部でな

のりちゃんの病気です。

わたしとおかあさんは、からだの一部でな

のりちゃんの病気です。

て、頭まで、おかしくなつてしま
います。

考えることができなくなるので
テレビを見ても、どうして、ああ
なるんだろうと思うことができま
せん。

ただ、感じただけで、ないたり
わらつたりするのです。

のりちゃんといっしょにテレビ
を見ていて、急に、なきだされる
と、いくら、あやしても、なきや
まないので、おばさんをよぶと、
すぐこられました。

のりちゃんもすぐなきやみまし
た。

んたちといっしょに、住んでいた
時は、いつも、ぼくが、のりちゃ
んとその弟のじゅん君のもりをし
ます。

じゅん君は、あはれんぼうなの
で、つかまえようとして、おいか
けると、じゅん君は、チヨコチヨ

コ、チヨコチヨコと、にげ回るので
なかなかつかまえられません。

のりちゃんは、いつからか、わら
いだしています。

じゅん君は、いっしょにけんめい
走りながら、ゲラゲラとわらつてい
ます。ぼくも、わらいだして、しま
いました。

でも、のりちゃ
んは、小こまひで
いっしょに走れな
いという、くやし
さがあるかもしけ
ません。



こんなに、かな

あつちへ行つたり、こつちへ来たりして、い
ました。

しばらくぞうを見てから、バンビがいたの
で、バンビを見ました。バンビは、まだ、小さ
いバンビや、少し大きいバンビが、いまし
た。バンビは、目がくりくりしていて、とて
もかわいい所が、さなえちゃんに、とても、
よくしていました。

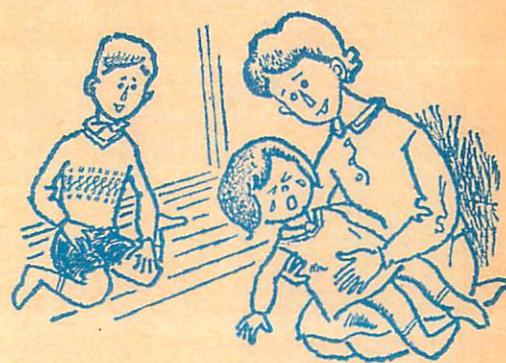
バンビのとなりには、ろばがいました。ろ
ばは、元気がなくて、だらんとしていました。
わたしは、病気かなと思いました。

それから、いろんな種類のさるを、見ま
した。まんなかのお
りのさるを見たら、
おりの中には、ぐにや
ぐにやまがっている
木があつて、さるが
よちよち歩いているのに、とても、よくに
ていました。



それから、ライオンを見ました。ライオン
は、女のライオンと男のライオンが、いまし
た。男のライオンが、「ウオーッ」と言つたら
さなえちゃんが、こわが
つて、わたしのおかあ
さんの後ろへ、かくれてし
まいました。

そして、最後に、トラ
と、ヒョウを見てから、八木山動物園の、ま
め電車に、乗りました。さなえちゃんは、よ
ろこんで、「キヤッ、キヤッ」と、さわいで



しい、毎日を送っている、のりち

のりちゃんが、生まれれば、こんな

いました。

やんを、思いうかべ

不幸にならなかつたでしよう。

ると、残ねん

という字が

いっぱい

集まつて

のりちや

んを、か

くしてしま

うようです。

ぼくが大きくなつ

たころは、医学も進んで、小にま

ひなんか、すぐなおせるように、

なるかもしません。

ぼくが、おどなになつたころ、

どんな病気でも、なおせるよう

になつたら、のりちゃんを、いち

ばん最初に、なおしてやろうと思

います。

そして、ほかの人には、まけない

くらい、元気になつてほしいです。

ぼくは、のりちゃんとやりたい

のは、話し合いです。

早く、死なずに、まつていれば

きっと、話し合うことが、できる

でしよう。

その日が、とても楽しみです。

のりちゃんは、生まれた時から、

からだが、とても弱くて、お医者

さんが、



「もう、この子はなおらんから、次に生まれた子を、しつかり育てなさい。」

今まで、なおせなかつた病気も、かんたんに、なおせるように研究をす。

どんどん、進ませていくのです。



動物園をよく見て書いてあり、いつも

ショニ楽しくなるような文章です。



ぼくが、自分の家で、ちり

よく教えます。

小学校の一年生か

ら、大学四年まで、

医学の勉強をさせて

たいていの病気なら、

